

ポラスグループ
中央住宅

柏の複合開発が好調

マンション 3カ月で100戸契約

公務員住宅跡地戸建て19戸は昨年完売

ポラスグループの中央住宅が千葉県柏市で開発中の大型新築分譲マンション「ルピアグランデ柏」が7月初旬の販売開始から3

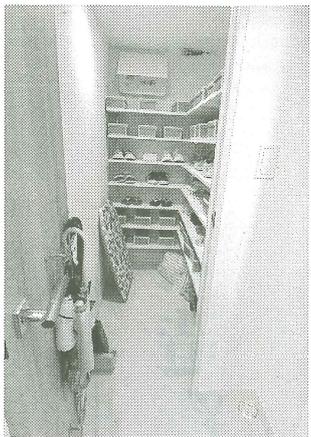
カ月で第1期・第2期販売分100戸を完売した。

「ルピアグランデ柏」はJR常磐線・東武アーバンパークライン柏駅から徒歩15分に位置する公務員住宅跡地1.1haに、分譲戸建て住宅「マインドスクエア柏」を併設。オープンキッチンや

共用施設として約20坪の木造コミュニティホールを併設。オープンキッチンやキッチンスペース、シェアブックコーナーを設ける。また、防災グッズも備え、緊急時には避難所の機能も果たせる。そのほか、ラウンジや子どもが水遊びできるアクアパークなど、家族で楽しめる空間を設ける。



7月初旬の販売開始から3カ月で第1期・第2期販売分100戸を完売した。併設。オープンキッチンやキッチンスペース、シェアブックコーナーを設ける。また、防災グッズも備え、緊急時には避難所の機能も果たせる。そのほか、ラウンジや子どもが水遊びできるアクアパークなど、家族で楽しめる空間を設ける。



専有部はリビングダイニングとキッチンを一体型にし、バスルームまでの回遊動線を確保したオリジナル仕様の「ピラキッチン」を採用したほか、食器棚や玄関脇のシューズインクロゼットなどの収納を拡充した。販売価格は2498万〜4698万円。累計350組が来場した。購入者層は、柏市内を中心に沿線の近隣エリア在住の20歳代後半〜40歳代前半が中心で、共働き世帯は4割を超える。第3期販売の開始は、来年1月を予定している。

人気のピラキッチンや今回初めて導入したシューズインクロゼットは全住戸の45%に採用した